

2009年6月25日

メディシノバ・インク  
代表取締役社長兼 CEO  
岩城 裕一  
コード番号: 4875 大証ヘラクレス  
問合わせ先: 東京事務所代表 副社長  
岡島 正恒  
電話番号: 03-3519-5010  
E-mail: [info@medicinova.com](mailto:info@medicinova.com)

## メディシノバ・インク及びアヴィジェン社の合併に向けた

### 覚書締結のお知らせ

2009年6月25日 米国 サンディエゴ発 - メディシノバ・インク(米国カリフォルニア州 サンディエゴ、代表取締役社長兼 CEO: 岩城裕一)は、当社及びアヴィジェン社の合併に向けた覚書締結に関し、米国において共同のプレスリリースを発表いたしましたのでお知らせいたします。当社がアヴィジェン社を買収することによって、イブジラスト(アヴィジェン社ではAV-411として、当社ではMN-166としてそれぞれ開発中)に関する両社の神経系の臨床開発プログラムを広範に結合させ、さらに発展させることが可能になります。

現時点において、当社及びアヴィジェン社の計画では、アヴィジェン社の株主が、アヴィジェン社の純現金清算価値の概算に3百万米ドルを加算した額を対価として受け取ることを合併の条件とすることを予定しています。アヴィジェン社の株主は、(1)契約締結時にこの対価を現金で受け取るか、(2)現金対価をもって、4米ドルまたは相互に合意したメディシノバの普通株式の株価の出来高加重平均価格のいずれかより高い転換価格で、メディシノバの株式に転換することのできる転換可能有価証券を受け取るか、を選択することができます。契約締結から18ヶ月経過した時点で未行使の転換可能有価証券は、その現金価値で支払いを受けます。従って、両社の株主は、両社の製品ポートフォリオの結合により、将来的な企業価値の拡大に参加することのできる機会を得ることになります。また、前述の対価に加えて、全てのアヴィジェン社の株主は、ジェンザイム コーポレーション(Genzyme Corporation)との間で締結されている譲渡契約(Assignment Agreement)に基づく特定の製品に関するマイルストーン・プログラムに従い、臨時の支払いの受領を可能にする権利証(Contingent payment right)を受け取ります。ただし、今後なんらかの調整が行われた場合、これに従います。

当社の岩城社長兼 CEO 及びアヴィジェン社のアンドリュー・ソーター社長兼 CEO 兼 CFO の両者は、イブジラストの開発プログラムの結合の重要性とそれによる企業価値の増大を歓迎し、最終的な契約の締結に向けて、交渉を進める決意を語っております。さらに、アヴィジェン社のアンドリュー・ソーター社長兼 CEO 兼 CFO は、すべての条件で合意に達するよう交渉を継続し、2009年第3四半期中に、株主に対し、合併契約の承認を求めるつもりであると述べています。

両社によるかかる覚書はまだ拘束力を持つものではなく、最終的な合併契約の作成とデュー・ディリジェンスが必要です。あらゆる合併契約の締結は、株主及び規制当局の承認、重大な悪化が生じないことなど契約締結に関する商慣習上の条件に従う必要があります。当社及びアヴィジェン

ン社は、本プレスリリース記載の条件またはその他の条件に関して、話し合いを継続する法的義務を負うものではありません。未だ、正式な契約は締結されておりませんし、契約締結の交渉が将来成功裡に完了すること、前述の条件が修正されないこと、または合併が完了することが保証されているわけでもありません。

以上

#### メディシノバ・インクについて

メディシノバ・インクは、日本内外の国際的製薬企業との提携により有望な低分子化合物を導入し、様々な疾患領域の新規医薬品の開発を行う公開製薬企業です。弊社のパイプラインには、喘息急性発作、多発性硬化症、喘息、間質性膀胱炎、固形癌、全般性不安障害、切迫早産、尿失禁及び血栓症など、多様な疾患の治療を目的とする臨床段階の化合物が揃っております。メディシノバ・インクの詳細につきましては <http://www.medicinova.jp> をご覧下さい。メディシノバ・インクの所在地はアメリカ合衆国カリフォルニア州サンディエゴ市ラ・ホイヤ・ヴィレッジ・ドライブ 4350、スイート 950（電話 1-858-373-1500）です。

#### アヴィジェン社 (Avigen) について

アヴィジェン社は、重篤な神経疾患等を治療するさまざまな医薬品を開発することに注力しているバイオ医薬品企業です。アヴィジェン社は、神経因性疼痛、オピオイド離脱、オピオイド依存症またはメタンフェタミン依存症などの治療効果を持つ可能性のある、AV411 及び関連医薬品候補の現金化を目指しております。アヴィジェン社の詳細につきましては、<http://www.avigen.com> をご覧下さい。

#### AV411 について

類似物を含む AV411 のポートフォリオは、疼痛及び薬物依存の治療に対する新規（ファースト・イン・クラス）の、非オピノイド薬剤です。AV411 は、現在、国立薬物濫用研究所の資金提供を受けたフェーズ 2a 臨床試験を実施中です。FDA の鎮痛部門の治験許可申請（IND）を受けた疼痛プログラムでは、アヴィジェン社によるフェーズ 1 及びフェーズ 2a 臨床試験が完了し、人での安全性と有効性の確認・検証を行うフェーズ 2 臨床試験が準備中となっています。アヴィジェン社は、ごく最近、健常人のボランティア及び糖尿病の患者を対象とした、複数週にわたるフェーズ 1 臨床試験を完了いたしました。この臨床試験は、高容量投与に対する推奨を支持する根拠となっています。

AV411 は経口投与可能な薬剤で、中枢神経系に浸透する低分子グリアアテニューエーターであり、炎症誘発性のサイトカインインターロイキン (IL)  $-1\beta$ 、TNF $\alpha$  及びインターロイキン (IL)  $-6$  を抑制する作用を持つとともに、抗炎症性のサイトカイン、インターロイキン (IL)  $-10$  の産生を促進する可能性があります。また、トール様受容体 (TLR4) の刺激による作用を阻害し、全身及び神経の炎症に関連するサイトカインに拮抗する作用があると言われております。これらの複合作用により、神経炎症が緩和されると考えられています。米国及び欧州では、新規化合物とされていますが、日本ではすでに 20 年前に薬として承認を受けております。100 万人以上の喘息患者に対して処方されており、日本における処方容量では、市販後の安全性も良好です。

米国民事証券訴訟改革法 (The Private Securities Litigation Reform Act of 1995) に基づく「将来の見通しに関する記述」

このプレスリリースの合併に関する記述には、1995 年米国民事証券訴訟改革法 (The Private Securities Litigation Reform Act of 1995) に規定される意味での「将来の見通しに関する記

述」が含まれている可能性があります。これらの記述は、この「将来の見通しに関する記述」が述べるものと大きく相違する結果となるような、リスク及び不確定要素の影響を受けるものであります。これらのリスクには、当社とアヴィジェン社が、合併に関するすべての条件で合意に達することができない可能性（この場合、条件どおりの合併が実現できない場合と、全く合併そのものが実現しない場合が考えられます）、交渉の経過に従って、または状況もしくは前提条件の変化により、合併の条件が変更する可能性、両社が最終的な契約条件の合意に至った場合でも、必要となる双方の株主の承認が得られないなど、契約締結の条件を満たすことができず、合併契約が結べない可能性などが挙げられます。当社に関わるその他のリスクまたは不確定要素につきましては、2009年5月15日にSECに提出いたしました、2009年3月31日に終了した四半期に係る当社の10-Q「リスク・ファクター」の項をご参照ください。アヴィジェン社に関わるその他のリスクまたは不確定要素につきましては、2009年5月11日にSECに提出いたしました、2009年3月31日に終了した四半期に係るアヴィジェン社の10-Q「当社の事業のリスク」の項をご参照ください。

本文書は、いかなる有価証券の売買の勧誘を行うものではなく、また、投票や承認の勧誘でもありません。また、当社及びアヴィジェン社が、契約について合意に達した場合にSECに提出するいかなる登録書類、目論見書もしくは株主総招集通知、またはSECに提出されるか、各株主に送付されるその他の文書の代わりとなるものでもありません。アヴィジェン社の投資家及び株主は、SECに提出されるかかる書類が入手可能になれば、速やかに、すみずみまで読む必要があります。かかる書類には、合併に関する重要な情報が記載されているからです。

投資家または有価証券保有者は、当社またはアヴィジェン社のSEC提出書類のコピーを、SECが管理する<http://www.sec.gov>から無料で入手することができます。

当社及びアヴィジェン社の執行役及び取締役は、本合併に関する委任状勧誘の関係者とみなされます。当社の取締役及び執行役の情報は、2009年3月31日にSECに提出いたしました、2008年12月31日に終了した年度のForm 10-K（年次報告書）、または、2009年4月29日にSECに提出いたしました、2009年年次株主総会の招集通知でご覧いただくことができます。アヴィジェン社の取締役及び執行役の情報は、2009年3月16日にSECに提出しその後2009年4月30日に改訂を行いました、2008年12月31日に終了した年度のForm 10-K（年次報告書）でご覧いただくことができます。委任状勧誘の関係者に関するその他の情報及び直接的または間接的な利益についての情報は、合併に際して提出される招集通知に記載されます。